

高野山

約1200年前に弘法大師によって開かれた真言密教の修行道場であり、総本山金剛峯寺がある。標高およそ900mの山にさまざまなお堂や塔が立ち並び、うっそうと杉の樹が茂る奥之院には、さまざまな人々のお墓が立ち並ぶ。

9月定例会号

主な記事

2～3面 平成26年9月定例会概要

4面 議会活動の紹介  
県議会からのお知らせ

わかやま  
県議会  
だより No.26  
平成26年[2014]  
11月9日発行(年4回発行)



常任委員会活動レポート

6つの常任委員会のうち、今回3つの委員会の活動を紹介します！

和歌山県世界遺産センター・世界遺産熊野本宮館  
(田辺市本宮町)



経済警察委員会



潜水救助訓練の様子

経済警察委員会では、7月30・31日に県内6カ所の調査を行いました。和歌山県警察学校では機動隊等のレンジャー・射撃・柔道・剣道・潜水救助の厳しい訓練の状況を、和歌山県世界遺産センター・世界遺産熊野本宮館、新宮警察署井関駐在所では紀伊半島大水害の被害からの復旧状況等を、それぞれ調査しました。また、新宮警察署の建設予定地を確認するとともに、津波襲来時の指揮拠点として整備された串本警察署の代替指揮所、収益の一部を地元還元する地域貢献型のメガソーラー・龍谷ソーラーパークでは、施設と今後の運用の概要について調査を行いました。

委員会としては、今回の調査の結果を踏まえ、



串本警察署代替指揮所

県民の皆さんの安心・安全の確保、また産業・雇用施策等のさらなる充実のため、今後も全力で取り組みまいります。



京奈和自動車道紀北西道路  
岩出インターチェンジ(仮称)建設予定地

建設委員会

建設委員会では、8月18・19日に県内17カ所の調査を行いました。今回の調査では、道路関係については、京奈和自動車道紀北西道路、第二阪和国道、国道42号冷水拡幅、田辺西バイパス、県道吉備屋バイパス、県道白浜温泉線の整備状況を調査し、国道42号有田海南海道路及びすさみ串本道路、県道白浜久木線の整備計画の調査を行いました。また、河川関係については、有田川の河口周辺整備と堤防強化、日置川の浸水状況の調査を行いました。さらに、津波対策としての串本町及びすさみ町における公共施設等の高台移転箇所調査、来年開催される紀の国わかやま国体・大会の競技会場となる田辺市の三四六総合運動公園の調査を行いました。委員会としては、今後も、大規模災害の発生に備えた防災・減災対策、地域の活性化と発展を図る道路ネットワーク等の社会資本整備について、県当局とともに取り組んでいきます。



阪和自動車道・京奈和自動車道  
和歌山ジャンクション(仮称)建設予定地

農林水産委員会

農林水産委員会では、9月22日に県内2カ所の調査を行いました。今回の調査では、和歌山南漁業協同組合及び紀南農業協同組合において、合併による効果と課題、今後の取組等をテーマに調査を行いました。各調査先では、関係者から概要説明を受けるとともに意見交換を行いました。

また、和歌山南漁業協同組合では製氷施設において製氷機及び製氷の状況を、紀南農業協同組合では、総合選果場において非破壊による糖酸度センサー等を活用したみかん選果システムの視察を行いました。委員会としては、今回の調査で得た貴重な情報をもとに、今後とも、所得の安定化や担い手の確保、鳥獣害対策等、本県の基幹産業である農林水産業の一層の振興と発展のため取り組んでいきます。



JA紀南総合選果場(田辺市)



和歌山南漁業協同組合(田辺市)

# 9月定例会の概要

9月9日～9月26日までの18日間

## 会期中の主な動き

### ■特別委員会の開催

- 半島振興・交通・産業振興対策特別委員会……(9/16)
- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会……(9/17)
- 防災・国土強靱化対策特別委員会……(9/18)

### ■特別委員会の設置

- 決算特別委員会を設置し、委員を選任……(9/26)

## 一般質問議員 15人

9月16日(火)	9月17日(水)	9月18日(木)	9月19日(金)
服部 一	上田 良治	中村 裕一	岸本 健
浦口 高典	藤本眞利子	片桐 章浩	角田 秀樹
高田 由一	奥村 規子	松坂 英樹	濱口 太史
鈴木 太雄	中本 浩精		浅井修一郎

## 議案等の議決結果

項目	件数	件名	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成26年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件( // )	6件	和歌山県認定こども園の認定の要件に関する条例の一部を改正する条例 等	可決
決算案件( // )	2件	平成25年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	継続審査
人事案件( // )	1件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて	同意
その他案件( // )	8件	平成26年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
諮問( // )	1件	退職手当の支給制限に対する審査請求に関する諮問について	知事の裁決書(案)は適当と認める
請願	1件	「国会に憲法改正の早期実現を求める意見書」提出を求める請願	採択
意見書	9件	国会に憲法改正の早期実現を求める意見書	可決
		国土の強靱化と地方創生に資する社会資本整備の推進を求める意見書	
		魅力ある地方都市の構築へ向けた施策の推進を求める意見書	
		介護従事者の人材確保に関する意見書	
		「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書	
		産後ケア体制の支援強化を求める意見書	否決
奨学金制度の充実を求める意見書			
		消費税10%への増税中止を求める意見書	
		集团的自衛権行使容認など解釈改憲に抗議し、憲法を守り尊重することを求める意見書	

## 政策

### 知事の目指す県政

**問** 知事は、次の知事選挙への出馬表明をされたが、具体的にどのような県政を目指すのか。

**答** 知事就任以来、和歌山を元気にするため、いろいろな分野で新たな取組を進めてきましたが、課題はまだ山積しています。3期目の県政は、産業振興、防災対策、インフラの充実、都市の再生及び過疎地域の活性化、医療・福祉の充実及び治安の向上、学力の向上など教育の充実、紀の国わかやま国体・大会の成功など、7つの政策に取り組むことにより、県民の皆様が「明日が今日よりもよい」と思ってもらえるような和歌山を創造していきたいと思っています。

## まちづくり

### 空き家対策

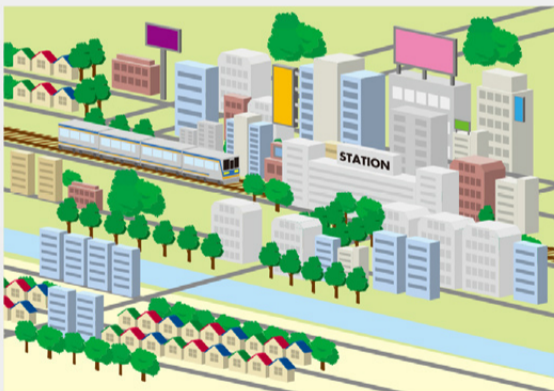
**問** 県は、平成24年に都道府県初の景観支障防止条例を制定し、本年4月には周辺の景観を損ねている空き家の持ち主に撤去・改修を勧告したが、その後の経過はどうなっているのか。

**答** 県内の一棟の空き家について、建築物を除去または周辺景観と調和した外観に改善するよう初の勧告を行い、勧告後も所有者に指導を続けていますが、現時点では除却または改善がされていません。今後、勧告に従わない場合には所要の措置を行う旨の命令も考えています。

### JR和歌山駅を中心としたコンパクトシティの形成

**問** 和歌山県・和歌山市の再生を望むのであれば、JR和歌山駅を中心にコンパクトシティを進め、南海本線をJR和歌山駅に引き込むなど、同駅に鉄道を集中させる大胆な発想が必要であると思うが、どうか。

**答** 鉄道の相互乗り入れは、利便性の向上やまち全体の活性化等に効果があり、コンパクトなまちづくりに資するものですので、鉄道事業者に働きかけたところ、県と鉄道事業者の間で相互乗り入れ実現に向け



た課題を検討する勉強会を立ち上げることにしました。経費面で克服すべき課題は多くありますが、実現に向けて積極的に取り組んでいきます。

## 観光・産業

### 「真田丸」を活用した観光振興

**問** 平成28年のNHK大河ドラマ「真田丸」に決定し、地元九度山町は大いに盛り上がっている。「真田丸」を活用した観光振興策の現在の取組状況、今後の計画はどうか。

**答** 大河ドラマを活用し、誘客に取り組んでいる自治体に対し、事業主体や事業内容、課題等のヒアリングと現地調査を行い、現在、事業の基本計画を策定しているところです。九度山町や高野町だけでなく、紀の川流域エリアを中心に広域的な誘客と消費の促進を図ることとしており、来年度当初から本格的な事業が実施できるよう準備を進めていきます。

### 中国へのトップセールス

**問** 先日、中国を訪問し、本県の魅力をアピールしてきたが、知事のトップセールスを含めた思いや今後の取り組み、また本県の果実の輸出に対する見解はどうか。

**答** トップセールスについては、知事就任以来、みずから現地に出向き、相手国のトップクラスの要人や関係業界等にインパクトをもって本県の魅力を伝えるよう取り組んできましたが、これを一過性に終わらせないよう、県全体でアプローチを継続することが大切です。果実の輸出については、政府に対し、中国との植物検疫条件の早期合意を引き続き要望していく必要があります。

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

# 防災

## 殿山ダムの耐震検査

**問** 南海トラフ巨大地震の関係から、白浜町よりダム本体と堰堤両端の岩盤の強度、耐震等を客観的に検証してほしいとの要望があるが、関西電力と協力して殿山ダムの耐震検査をしてはどうか。

**答** 本年4月に知事から、耐震性能照査の結果を提出させ、提出された資料を県でも検証するなどの指示を受け、関西電力に検討を要請したところ、耐震性を有しているとの報告を受けました。現在、県では関西電力に対し、耐震性能照査に用いたデータや照査方法の詳細について問い合わせを行い、その内容を鋭意検証しているところです。

## 二川ダム等の再点検・監視

**問** 二川ダムのダム湖右岸斜面には地すべり防止区域が大きく広がっているが、ダム湖や緊急輸送道路などに重大な被害や影響を与えかねない箇所については再点検や監視を行うべきではないか。

**答** 二川ダムを初め県管理ダムは毎週1回巡視を行い、また緊急輸送道路を含む県管理道路は月1回以上点検し、それぞれ異常を発見した場合は速やかに必要な措置を講ずることとしています。今後も、ダムや緊急輸送道路を初め、県民生活に必要な不可欠な社会資本については必要な点検やパトロールを実施していきます。

# 福祉

## 子ども子育て支援新制度

**問** 来年4月から新しい制度が本格的に実施されるが、保護者を初め、県民からもよくわからないという不安の声がある。中には制度改革を知らない人もいるが、新制度はどういったものか。

**答** 子ども・子育て支援新制度は、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進めていく制度です。待機児童の解消や認定こども園制度の改善が図られるほか、子どもが減少傾向にある地域でも、小規模な保育等を支援することができるようになります。

# 人口

## 人口減少問題

**問** 人口流出に歯止めをかけるには、魅力ある地方都市の創生が必要である。婚活等の新事業に取り組んでいるが、企業誘致につながる府県間道路の整備など、今後の施策への考えはどうか。

**答** 企業誘致につながる府県間道路や高速道路ネットワークの整備促進などを進め、現在の政策に磨きをかけて若者の働く場をふやすなど、魅力ある地方都市の構築に向けて引き続き努力することが必要です。国では「まち・ひと・しごと創生本部」が創設され、地方が成長する活力を取り戻し、人口減少を克服することが基本目標に明記されました。国の動向を注視しつつ、県施策のさらなる充実に取り組みしていきます。

# 教育

## 全国学力テスト結果への対応

**問** 平成26年度全国学力・学習状況調査の結果において、本県は小学校国語Aが全国最下位となったが、原因は何であり、どう反省し、浮上するためどう対応していくのか。

**答** 今回のような厳しい結果となった背景には、教員の意識のあり方や子どもの学習意欲を高める指導の不十分さ、子どもの力を伸ばし切れていない授業、家庭での学習時間の少なさ等、様々な課題があると考えます。そのため、教育委員会内に学力向上対策本部を立ち上げました。また、全国学力調査で好結果を出している他県に職員を派遣するなど、学力向上のための具体策を作成し、その実践を指導していきます。

## 学校図書館の活用

**問** 文部科学省から学校図書館図書標準が示されているが、本県の学校図書館の状況はどうか。また、学校図書配置の現状と今後の計画はどうか。

**答** 平成24年度の調査では、国の蔵書基準を達成している小学校は63・5%で全国平均を67%上回り、中学校では41・6%と全国平均を59%下回っています。学校司書は、平成24年度はゼロであったものが現在は5市町と増加傾向にあります。が、全国に比べると大変少なく、解決しなければならぬ課題と受けとめています。



## 正しい日本地図の活用

**問** 教育現場では、沖縄県や尖閣諸島などの離島を分割表示した地図が使われることが多い。自国の領土を理解するため、日本の領域全体を表現している地図を県立高校の全学級に配付し、活用すべきではないか。

**答** 急速に進む国際化社会のことを深く知ることは大変重要です。子どもたちが自国のことを正しく知る機会をつくるため、領土が正しく表記された日本地図を全ての教室に掲示できるように、県立学校に配付します。市町村教育委員会に対しても、所管の小中学校や高等学校で県立学校同様の取組を進めるよう働きかけていきます。

# 農業

## ミカンの振興

**問** 愛媛県では新品種開発に力を入れ、知事直轄の営農本部を設置して販路拡大等に取り組んでいる。国内のライバル産地や外国産の果実に負けないうよう、ミカンの振興にどう取り組むのか。

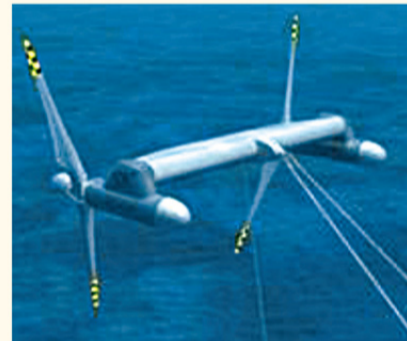
**答** 「おいしい!健康わかやま」のキャッチフレーズでPRするとともに、試験研究機関のテーマ公募も始めました。試験研究費も倍増させ、生産面での支援や鳥獣害対策にも力を入れています。産地や地元のみ市町村等と一緒に、生産対策はもちろん、有利な販路開拓、新品種の開発加速など、名実ともに日本一の産地づくりに取り組んでいきます。

# 自然・エネルギー

## 海流発電の今後の取組

**問** 本年7月に内閣官房から発表された海洋再生エネルギー実証フィールドに県が応募した海流発電が選定されなかったが、この結果についてどう考え、また今後どう取り組むのか。

**答** 地元の受け入れ準備は十分整っています。発電機開発が実証実験段階にない、利用者が決まっていないう等により判断されたと思います。しかし、大規模な技術開発というの



海流発電イメージ (提供:三菱重工-Aquantis)

## 南紀熊野ジオパークの今後の推進体制

**問** 本年8月28日、南紀熊野地域が日本ジオパークに認定された。これまでは環境生活部が担当してきたが、今後は他部局も加えた推進体制の強化が必要である。どのような体制で臨むのか。

**答** ジオパークは、地元の人のかかわりが大変重要な側面であると認識しています。今後は、地域の人々が自主的・自立的な活動を展開していく上で必要なことを知事が先頭に



立って県全体で支援していきたいと思っています。南紀熊野ジオパークを世界に誇るものとするため、地元自治体、環境省などの関係団体も含め、地域の人々と一体となって世界ジオパークを目指して頑張っていきます。

# Information

県議会からのお知らせ



## テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

### テレビ テレビ和歌山(WTV)

**県議会だより** 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送(12月定例会の放送予定 12/2、9~12、18)

**県議会手話だより** 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送

**県議会だより委員会活動レポート** 11月24日 19時から30分間放送予定(再放送は12/6 17時30分から)

### ラジオ 和歌山放送(WBS)

**県議会ダイジェスト** 開会、質問、閉会日の22時から15~30分間放送(12月定例会の放送予定 12/2、9~12、18)

## 県議会ホームページ

和歌山県議会 和歌山県議会

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

- 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。
- 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

## 傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

### 平成26年12月定例会 会期日程(予定)

本会議	12月 2日(火)
本会議(質問)	12月 9日(火)~12日(金)
常任委員会	12月15日(月)・16日(火)
本会議	12月17日(水)・18日(木)

※この日程は予定ですので、変更されることがあります。傍聴を希望される方は、開催日時等をお確かめください。

## 「点字版・テープ版」のご案内

本紙の点字版、テープ版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。

### 虚礼廃止にご理解・ご協力を!

- 県議会では、虚礼を廃止した議員活動を行っています。
- 冠婚葬祭、慶事、見舞い及び各種行事等における寄附行為の禁止(本人が出席する結婚式の祝儀、香典等は除く)
  - あいさつ状の禁止
  - 議員名、議員団名及び会派名による年賀・暑中見舞い等の各種広告の禁止
  - 中元や歳暮の贈答はしない
  - お祝い・おくやみ電報等は出さない(親戚・友人は除く)



# Topics

議会活動の紹介



## 第8回紀伊半島三県議会交流会議開催

紀伊半島に位置する和歌山、三重、奈良の三県議会が共通課題等について話し合う「第8回紀伊半島三県議会交流会議」を7月18日、本県の主催により高野山金剛峯寺で開催しました。

会議では、高野山真言宗の添田宗務総長から講話をいただいた後、『紀伊山地の霊場と参詣道』世界遺産登録10周年を契機とした誘客対策についてと題し、外国人観光客に対応した環境整備を中心に活発な意見交換が行われました。

主な意見としては、日本へのリピーターが多い国・地域を対象にレンタカーによるドライブコースを提案していくことや、平成22年7月に三県が共同で建国宣言を行った「吉野・高野・熊野の国」のさらなる活用を図ること、外国人観光客のニーズが高いWi-Fi環境の整備に三県が連携して取り組んでいくことなどについて発言があり、また、観光振興に資する三県間道路の整備推進についても提案がなされました。

さらに、紀伊半島地域への外国人旅行者の誘客につなげるため、引き続き三県議会が当局と車の両輪となって広域観光の振興に向けた協力・連携を深めていくことを確認するとともに、国に対して、紀伊半島におけるアンカールートの整備促進、並びにリニア中央新幹線の東京・大阪間全線同時着工の整備計画に基づく実現について要望していくことを合意しました。



会議終了後には、三重・奈良両県の参加者の方々に、世界遺産である聖地高野山の魅力と本県の「おもてなし」を肌で感じていただくため、金剛峯寺僧侶の案内のもと、高野山奥之院の現地視察を行いました。

来年度の第9回交流会議は、三重県で開催される予定です。

## 関西広域連合議会 8月定例会開催



関西広域連合8月定例会は各構成団体持ち回りで開催しており、今年度は8月28日に兵庫県議会の本会議場で開催されました。

本会議においては、花田健吉議員が一般質問を行い、「関西エネルギープランにおける再生可能エネルギー導入目標の達成」、「再生可能エネルギー推進のための具体的政策」、「中小零細企業の経営安定と競争力を保持するエネルギープラン」、「ベース電源となり得るエネルギー政策の構築」、「原発からの撤退に向けた対応」、「安全基準を満たした原発の再稼働」、「自然エネルギー発電の積極的導入事例」、「南海トラフ地震等の津波被害に備えた発電所の強化、分散化等」について、井戸連合長(兵庫県知事)、仁坂副連合長(和歌山県知事)、松井委員(大阪府知事)及び橋下委員(大阪市長)に質問しました。

とりわけ南海トラフ地震等の津波被害に備えた発電所の強化、分散化等については、関西電力の主力である火力発電所は太平洋側に面した海岸に配置されており、南海トラフ巨大地震発生時、これらの火力発電所が津波による被害で復旧に数ヶ月間を要すると想定されており、太平洋側で発生する巨大地震と津波に備え、国と危機意識を共有しながら発電所の強化及び分散化などの具体的政策に早急に着手する必要があると考えるが、関西広域連合としてどのように考えるかたどりました。

本質問に対し、井戸連合長から、関西広域連合で策定した関西防災・減災プランにおいて、防災基盤とともに電気などのライフライン関係施設について事業者の危機管理に関する記載をしており、また関西電力においても、一定の分散配置と国の対策方針に沿った防災対策を進め、南海トラフ地震に対して、関連する火力発電所が立地する構成府県と情報共有しながら被害想定や対策の検討を行ってきたと承知している、関西広域連合としても、リスク分散と電力の多様化の観点を共有しながら、さらに危機意識を持って取り組んでいきたいとの答弁がありました。

